

令和元年度に県内森林組合が補助金を活用して実施した森林整備事業についてお知らせします。

このページは、平成29年4月に実施した「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」に基づきお知らせするものです。

県下の全18組合が令和元年度に森林經營計画に基づき補助事業を活用し実施した森林整備事業の概要です。森林を守ることは、地道な作業を長い年月を費やして行なわなければ成り得ません。森林組合に従事する役職員は社会的使命と公益的性格を持つ組織として、より一層の団結の下、林業作業における高い生産性、安全性の確保を目指し、路網、高性能林業機械を活用してコストの低減化を図りながら、施業面積の拡大に努めています。

長野県の森林を未来に継承していくため引き続き森林整備を推進してまいります。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

参考：各森林組合のホームページにおいても公表しています。

県内森林組合が補助金を活用した森林整備事業の概要(令和元年度)

森林組合名	施業面積(ha)		搬出材積(m ³)	作業道(m)	事業費(千円)	補助金(千円)
	搬出間伐	以外				
南佐久北部	0	13	0	0	4,256	2,687
南佐久中部	11	31	1,408	2,413	19,924	10,669
南佐久南部	38	8	3,040	5,782	32,678	26,353
佐久	4	76	219	0	21,030	14,985
信州上小	108	288	7,494	5,519	270,587	175,912
諏訪	32	86	2,127	4,366	59,654	54,217
上伊那	241	250	9,352	31,879	287,288	246,317
飯伊	161	552	11,078	7,600	242,673	200,084
根羽村	13	54	1,564	88	23,925	15,826
和合	1	30	92	242	10,686	10,686
木曽	155	0	3,937	11,239	106,328	82,351
木曾南部	4	52	482	520	14,379	11,302
南木曽町	11	23	1,257	1,000	15,753	15,731
松本広域	39	164	3,183	8,636	283,782	237,726
大北	2	0	133	774	4,599	3,628
長野	214	221	21,272	20,378	319,948	193,708
北信州	180	1	11,598	11,598	218,103	106,465
栄村	23	6	2,376	2,574	28,281	16,020

(小数点以下は四捨五入処理しています)

★ 森林づくりの進め方

小規模な森林をまとめて「森林經營計画」を立てます。

森林經營計画とは、「森林所有者」又は「森林の經營の委託を受けた者」が、自ら森林の經營を行う一體的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画です。

一體的なまとまりを持った森林において、計画に基づく効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることを目的としています。



事業実施まで

- ① 森林組合からの説明と提案
- ② 長期施業委託契約の締結
- ③ 森林經營計画の作成
- ④ 事業の実施

森林組合の職員が、間伐の方法、路網の整備、木材の販売方法など具体的なご提案を持って、森林所有者の皆様に説明に伺います。

搬出間伐とは

樹木の成長に伴って混み合ってきた林の立木を一部抜き伐りすることにより植栽木の不必要な競争をなくし、すくすく力強く育つようにする作業です。また、林床に太陽光が届くようになり、下草が生育しやすい環境ができ、土壌の流出防止にも繋がることから、土砂災害防止のためにも重要視される保育作業です。搬出間伐は保育の間伐と同じく植栽木の適正な密度管理のために行う作業ですが、林齡が比較的高い森林について、間伐で伐採したカラマツやスギ、ヒノキを木製品等に有効利用するものです。伐採した間伐材は、利用に適した長さに玉切りし、木材センター等に運び、そこで製材業者等に販売します。

森林をまとめることで路網を整備し、作業の効率を高め、低コスト化を進めます。

危険な伐探作業をより安全に、効率よく進めるためには作業の機械化が必要です。また、木材を木材センター等へ送り出すためには、路網の整備が必要です。森林をまとめ(団地化)することで、森林の資源を無駄なく活用することができます。



高性能林業機械による作業(伐採・集材・造材等)

トラックへ積み込み

木材センターで仕分けて販売